

ふるさと わがまち わが地域

依遅神社のご加護のもとで村づくり

遠下(おんげ)地区(更新1)260430

世帯数 29世帯

人数 83人

(平成26年3月末)

前回(24/11)より

▲1世帯

▲4人

★地区概要



遠下は、かつては依遅ヶ尾の山の上のチンバというところにあり、チンバ千軒といわれるほどたくさんのお家がいました。現在は、国道178号線を海岸沿いにジオパークの美しい景観【丹後松島】に接しながら犬ヶ岬トンネルを抜け、平地区より右折して府道654号線へ、清流宇川上流の依遅ヶ尾山の麓にある地区です。昭和30年には209人いた人口も59年後の現在では83人です。地元の主な産業は農業(水稲栽培・野菜)です。



遠下生活改善センター

地区の常会、お日待(おひまち)の開催など区長さん先頭に、地区の活性化に意欲的に取り組んでいます。最近では、年末年始の行事の他、上宇川再ほ場整備推進に力を注いでいます。



清流宇川の自然の恵みとともに育む田畑



曲面傾斜路式の山根堰



アユ等の遡上がしやすいように生態系に配慮して整備された堰(せき)。中央部プール式。

★文化・伝統



24年度撮影

遠下のちいらい踊(京都府登録無形民俗文化財)

依遅神社の祭礼に太刀振とともに奉納される。太鼓打ち1人、太鼓持ち1人、ササラ2人、腰細(こしばち)2人の6人で踊られています。

神社



いにしへの静寂が包み込み、たたずんでいると、神木から神々の力が降り注ぎ、全身に生気が湧き出てくる空間。



格子戸越しに

依遅神社(いちじんじゃ)豊受比賣命(とようけひめのみこと)を祭る。官営十二年壬子年三月再建(旧村社)。明治三十九年八柱神社(山根)、三柱神社(一ノ瀬)を合祀。地元では通称「天王さん」と呼ばれています。



この杉の木は(右側)、依遅神社を山頂からこの地に移設鎮座(1672)した折に植樹されたもので、約340年に渡り見守ってきてくれたものである。ここに畏敬の念をもって神木として崇め奉る事とする。(立て札説明書きより)



依遅神社途中に祭られているお地蔵さん？



愛宕神社
落ち葉に埋もれた参道



井ノ内神社
木漏れ日で光り輝く神社



石灯笼からみたお花



修理中(平成24年)



太陽山 常福寺

本尊 観世音菩薩 元禄十二年(1699) 棲巖山常德寺(平)から離檀して一寺創建 現在は、無住職。

平成24年春の爆弾低気圧の被害に遭いましたが、檀家皆様のお力により修復が済んだ常福寺です。



窓越しの写真です



静寂

今は時を告げる鐘の音を響かすことなく静かに区民を見守っています。



遠下水源地
地区の生活用水の要です

時代とともに
見ることがなくなりつつある手押しポンプ。
(ピストンポンプ)



宇川沿いに咲く「プチ」桜の通り抜けです!!



桜の木のすぐ側にある愛宕神社のお地蔵さんです。毎月24日には、交互に上遠下、下遠下地区の区民の皆さんが、早朝にお参りをしています。4月下旬から5月初旬にかけて藤の花がとてもきれいです。今回は撮影に間に合いませんでした。